

潟市, 2004年3月24日.

摂食機能再建学分野

【論文】

- 1) MDM Rahman, Kohno S, Kobayashi H, and Sawada K: Influence of the inclination of the plate of intra-oral tracing device on the condylar position registered by the tapping movement. J Oral Rehabil, 31: 546-553, 2004.
- 2) Tazawa K, Hoshi K, Kawamoto S, Tanaka M, Ejiri S, Ozawa H: Osteocytic osteolysis observed in rats to which a parathyroid hormone was continuously administered. J Bone Miner Metab, 22(6): 524-529, 2004.
- 3) Tsuruta A, Yamada K, Hanada K, Koyama J, Hayashi T, Hosogai A, Kohno S: Comparison of condylar positions at intercuspal and reference position in patients with condylar bone change. J Oral Rehabil, 31:640-646, 2004.
- 4) Tsuruta A, Yamada K, Hanada K, Hosogai A, Kohno S, Koyama J, Hayashi T: The relationship between morphological changes of the condyle and condyle position in the glenoid fossa. J Orofac Pain, 18(2): 148-155, 2004.
- 5) 田中みか子: 固定性ブリッジを用いて前歯部の咬合と審美性を回復した唇顎口蓋裂症例, 補綴誌, 48(3): 465-468, 2004年.
- 6) 本間 濟, 河野正司, 武川友紀, 小林 博, 櫻井直樹: 煎餅を用いた食塊形成能力からみた咀嚼能力評価法. 顎機能誌, 10(2): 151-160, 2004年.
- 7) 興地隆史, 福島正義, 吉羽邦彦, 小林 博, 葎原明弘, 星名秀行, 富沢美恵子, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 客観的臨床能力試験(OSCE)における概略評定の信頼性と妥当性 - 平成15年度本学歯学部OSCEの解析 -. 日本歯科医学教育学会雑誌, 20(1): 135-141, 2004年.
- 8) 岩船素子, 五十嵐直子, 河野正司, 清田義和, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 義歯の装着と咬合力および噛める食品との関係, 新潟歯学会雑誌, 34(2) 49-54, 2005年.

【商業誌】

- 1) 河野正司: 東京医科歯科大学の創設者「島峰 徹」と新潟, 新歯界, 633-634, 2004年.
- 2) 澤田宏二: 歯の移植と咬合支持, 日本歯科評論, 64(11), 155-164, 2004年.

【講演・シンポジウム】

- 1) 河野正司: 日本補綴歯科学会の「顎機能障害のガイドライン」, 第58回日本口腔科学会総会 横浜 2004年5月8日, 同学会プログラム集 P.143, 2004年.
- 2) 河野正司(座長), 坂東永一, 古賀良生, 細貝暁子: 第17回日本顎関節学会総会・学術大会シンポジウム, 新潟 2004年7月4日, 同学会プログラム・抄録集 56-61頁, 2004年.
- 3) 細貝暁子: 顎関節の骨変化と下顎運動, 第17回日本顎関節学会総会・学術大会シンポジウム, 新潟, 2004年7月4日, 同学会プログラム・抄録集 p.59, 2004年.
- 4) 河野正司: 要介護者口腔ケア研究班の意義と総括評価, 阿賀北地区歯科医師学会・学術講演会「要介護者への口腔ケアの普及に向けて - 厚生労働科学研究班の成果を踏まえて」新潟, 2004年9月4日.
- 5) 河野正司: 要介護者のお口の実態から見る問題点, 公開講座 健やかなお口と食から考える介護予防 ~ 厚生労働科学研究班の成果を踏まえて ~, 新潟, 2004年9月10日, 2004年.
- 6) 河野正司: 顎関節症への対応, 第20回日本歯科医学会総会, 横浜, 2004年10月31日, 日本歯科医学会雑誌 p.58, 2004年.
- 7) 河野正司, 山田祐敬, 栗田賢一, 田口 望, 座長: 柴田考典, 伊東隆利: ミニシンポジウム「歯科医療現場に即応した顎関節症ガイドライン」, 第58回日本口腔科学総会 場所, 2004年5月8日, 2004年.

【学会発表】

- 1) 澤田宏二, 河野正司, 芳澤享子, 小林正治, 齊藤 力: 歯の移植による咬合支持の回復, 第111回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2004年5月21日, 補綴誌 48(111回特別号) 62頁, 2004年.
- 2) 小笠原正卓, 河野正司: 咀嚼運動時に観察される身体重心動揺の変調現象, 第111回日本補綴歯科学会学術大会, 東京 2004年5月21,22日, 補綴誌 48(111回特別号), 63頁, 2004年.
- 3) 松井理恵, 河野正司, 花田晃治, 五十嵐直子, 宮城尚史: 骨格性下顎前突症例における食物摂取時開口運動が頭部運動に及ぼす影響. 第111回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2004年5月22日, 補綴誌 48(111回特別号), 150頁, 2004年.
- 4) 金城篤史, 河野正司, 細貝暁子, 小笠原正卓, 藤井芳仁, 田島 卓: 下顎運動に伴う頭部運動と体幹動揺の同時測定を試み. 第111回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2004年5月21日, 同学会抄録集, 114頁, 2004年.
- 5) 本間和代, 河野正司, 本間 濟: 自由咀嚼と片側

- 咀嚼の初回嚙下までの咀嚼回数からみた機能的差異について, 第 111 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2004 年 5 月 21, 22 日, 日本歯科補綴学会誌 第 111 回学術大会抄録集, 152 頁, 2004 年
- 6) 田中みか子, 渡邊直子, 河野正司, 池亀美華, リズワナ・ピンテ・アンワール, 江尻貞一: エストロゲン欠乏と歯槽骨変化 - 卵巣摘出サルの上顎部歯槽骨の解析 -, 第 24 回日本骨形態計測学会, 高松, 2004 年 6 月 24 日, 日骨形態誌 14(2), 55 頁, 2004 年.
- 7) Rezwana B A, Tanaka M, Kohno S, Ikegame M, Watanabe N, Ali M N, Ejiri S: Observation of microstructural changes in the molar alveolar bone of ovariectomized monkeys, 111th Scientific Meeting of Japan Prosthodontic Society, 2nd Joint Meeting of JPS and KAP, Tokyo, 2004-5-22, Jpn Prosthodont Soc Vol. 48 (Special Issue): 149, 2004.
- 8) Tanaka M, Watanabe N, Kohno S, Ikegame M, Rezwana B A, Ejiri S: Estrogen deficiency-induced alveolar bone loss around monkey canine, 1st Asian pacific congress of bone morphometry, Takamatsu, 2004-6-25, 日骨形態誌, 14(2): 103, 2004.
- 9) Rezwana B A, Tanaka M, Kohno S, Ikegame M, Watanabe N, Ali M N, Ejiri S: Relationship between microstructural changes of molar alveolar bone and lumbar bone mineral density in ovariectomized monkeys, 1st Asian pacific congress of bone morphometry, Takamatsu, 2004-6-26, 日骨形態誌, 14(2): 87, 2004.
- 10) Watanabe N, Tanaka M, Rezwana B A, Ikegame M, Kohno S, Hanada K, Ejiri S: Effects of estrogen deficiency on monkey mandibular condyles, and its correlation with mechanical stress caused by mastication, 1st Asian pacific congress of bone morphometry, Takamatsu, 2004-6-26, 日骨形態誌, 14(2):87, 2004.
- 11) 魚島勝美, 橋本明彦, 田中みか子, 杉田典子, 富田文仁, 長島克弘, 泉直也, 前田健康, 山田好秋: 新潟大学歯学部における総合模型実習の試み. 第 23 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟, 2004 年 7 月 1 日, 同学会抄録集 67 頁, 2004 年.
- 12) 櫻井直樹, 河野正司, 林孝文, 野村修一, 寺田員人, 荒井良明, 鈴木一郎, 星名秀行, 山田一尋, 松崎正樹: 顎関節症遠隔診断支援システム構築のための予備的調査, 第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟, 2004 年 7 月 4, 5 日, プログラム・抄録集, 135 頁, 2004 年.
- 13) 荒井良明, 寺田員人, 高木律男, 西山秀昌, 山田一尋, 高田佳之, 小野由紀子, 安島久雄, 櫻井直樹, 井伊直子: 本院における 10 年間 (1994-2003) の臨床統計学的検討, 第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟, 2004 年 7 月 4, 5 日, プログラム・抄録集, 132 頁, 2004 年
- 14) 渡邊直子, 江尻貞一, 田中みか子, リズワナ・ピンテ・アンワール, 池亀美華, 河野正司: 卵巣摘出によるサル下顎頭の骨密度及び構造の変化と応力分布について. 第 17 回日本顎関節学会総会・学術大会, 新潟, 2004 年 7 月 4 日, 同学会プログラム・抄録集 128 頁, 2004 年.
- 15) 本間 濟, 河野正司, 小林 博, 櫻井直樹: 咀嚼回数を指標とした補綴治療の評価. 平成 16 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2004 年 7 月 10 日, 同学会プログラム 26 頁, 2004 年
- 16) 松井理恵, 河野正司, 花田晃治, 五十嵐直子, 宮城尚史: 骨格性下顎前突症例における開口運動が頭部運動に及ぼす影響. 平成 16 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2004 年 7 月 10 日, 同学会プログラム・事前抄録, 26 頁.
- 17) 本間和代, 河野正司, 本間 濟: 自由咀嚼と片側咀嚼の機能的差異の検討. 平成 16 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2004 年 7 月 10 日, 同学会プログラム・事前抄録, 25 頁, 2004 年.
- 18) 岩船素子, 五十嵐直子, 河野正司, 清田義和, 霞原明弘, 宮崎秀夫: 義歯装着者の咬合力, 平成 16 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2004 年 7 月 10 日, 同学会プログラム 25 頁, 2004 年
- 19) 澤田宏二, 河野正司, 金城篤史, 竹内聡史, 甲斐朝子: 適正な顎位決定におけるゴシックアーチ描記装置の影響, 平成 16 年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2004 年 9 月 12 日, 同学術大会抄録集, 13 頁, 2004 年.
- 20) 子田 浩, 河野正司, 細貝暁子, 田島 卓, 甲斐朝子, 竹内聡史: 側方滑走運動記録法の違いが平衡側顎路に与える影響, 日本歯科医学会総会, 横須賀, 2004 年 10 月 16 日, 日本補綴歯科学会雑誌 48・112 回特別号 132 頁, 2004 年.
- 21) 田島 卓, 河野正司, 細貝暁子, 子田 浩, 金城篤史, 藤井芳仁: ガム咀嚼時における作業側顎頭運動の観察, 日本歯科医学会総会, 横須賀, 2004 年 10 月 16 日, 日本補綴歯科学会雑誌 48・112 回特別号 159 頁, 2004 年.
- 22) Fujii Y, Kohno S, Hayashi T, Aoyama H, Masaki R: Development of a new device for the measurement of vertical dimension using magneto-impedance (MI) sensors, The 7th international symposium on magnetic dentistry,

- Shanghai, 2004-10-25.26, Program p97, 2004.
- 23) 田中みか子, 河野正司, 渡邊直子, 池亀美華, 江尻貞一: エストロゲン欠乏による歯槽骨梁構造の変化に関する基礎的検討, 日本歯科医学会総会, 横浜, 2004年10月30日, 日本歯科医師会雑誌57(4), 439頁, 2004年.
- 24) 細貝暁子: 下顎運動は顎関節の骨形態変化により変わる, 第20回日本歯科医学会総会, 横浜, 2004年10月30日, 日本歯科医学会雑誌57(4), 78頁, 2004年.
- 25) 山田一尋, 細貝暁子, 田島卓, 河野正司, 花田晃治: 顎関節の骨形態変化が顎頭運動をどのように変えているか, 第20回日本歯科医学会総会, 横浜, 2004年10月30日, 日本歯科医学会雑誌57(4), 139頁, 2004年.
- 26) 石田陽子, 河野正司, 織田公光: 低ホスファターゼ症によって石灰化不全はなぜ起こるか, 日本歯科医学会総会, 横浜, 2004年10月30日, 日本歯科医師会雑誌57(4), 2004年.
- 27) 依田洋明, 河野正司, 本間 濟: 口蓋床装着が食物粉碎・移送能力と食塊形成能力に及ぼす影響. 平成16年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2004年11月13日, 同学会プログラム集26頁, 2004年.
- 28) 田中みか子, R. B. Anwar, 渡邊直子, 池亀美華, 江尻貞一: 卵巣摘出サルの歯槽骨変化について. 第8回TRIユーザー研究交流会, 東京, 2004年11月27日, 2004年.
- 29) 江尻貞一, 渡邊直子, 田中みか子, M. N. Ali, R. B. Anwar, 池亀美華: 顎骨動態への骨吸収抑制剤の影響. 第8回TRIユーザー研究交流会, 東京, 2004年11月27日, 2004年.
- 30) Roxana Stegaroiu, 渡邊直子, 田中みか子, 池亀美華, 江尻貞一: インプラント周囲骨の3次元有限要素解析 - 骨梁レベルまでシミュレートしたモデルを用いて -. 第8回TRIユーザー研究交流会, 東京, 2004年11月27日, 2004年.
- 31) 丸山 満, 根岸政明, 河野正司, 澤田宏二: リンガライズド咬合の咀嚼機能について, 明倫学会第3回学術大会, 新潟, 2004年12月11日. 2004年.
- 年9月29日, 新潟, 明倫歯科保健技工学雑誌8(1)77頁, 2004年.
- 4) 櫻井直樹: 応急処置から新製までの補綴治療について, 平成16年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2004年10月6日, 2004年.
- 5) 田中みか子, 澤田宏二: 可撤性部分床義歯のメンテナンスについて: 平成16年度歯科臨床研修医セミナー 新潟大学歯学部 2005年1月19日 2004年.
- 【研究成果報告書】**
- 1) 河野正司, 林 豊彦, 遠藤直人, 江尻貞一, 山田一尋, 中村康雄, 田中みか子, 細貝暁子: 下顎運動に伴う頭部運動と身体動揺を指標とした咬合と全身機能との関連の解明. 平成15年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(A)(2)(継続), 課題番号15209067, 2004年.
- 2) 田中みか子, 河野正司, 江尻貞一, 中島貴子, 澤田宏二, 全身的骨粗鬆症と歯槽骨骨梁構造変化との関連性 - サル顎骨を用いた基礎的研究からヒト顎骨における検証へ -, 平成16年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(Q)(2)(新規), 課題番号16591938, 2004年.
- 3) 田中みか子: 全身的骨粗鬆症患者における歯槽骨変化の実態, 平成16年度 新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2004年.
- 4) 細貝暁子: 顎関節症者の下顎頭骨形態変化の発症機構を下顎頭の運動論と咬合論から解明する, 平成16年度 新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2004年.
- 5) 石田陽子: 常染色体優性遺伝形式を示す低ホスファターゼ症の発症機構解明, 平成16年度 新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2004年.
- 6) 櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 鈴木一郎, 八木 稔, 小林 博, 星名秀行, 寺田員人: 情報の暗号化を伴うネットワークを活用した顎関節症者の遠隔診断支援システム構築, 平成16年度科学研究補助金 萌芽研究(継続) 課題番号 15659462, 2004年.
- 7) 櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 山田一尋, 八木 稔, 鈴木一郎, 小林 博, 星名秀行, 寺田員人, 八木 稔: ネットワークを活用した顎関節症, 咀嚼・嚥下障害患者の総合的診断支援システム構築, 平成16年度科学研究補助金(基盤研究(B)(2)), 課題番号16390552, 2004年.
- 8) 金田 恒: 短縮歯列への補綴的修復治療 - その種類別臨床効果と選択基準 -. 平成15年度日本学術振興会研究費補助金研究 若手研究B(継続), 課題
- 【その他】**
- 1) 河野正司, 豊里 晃, 伊藤加代子, 田巻元子: 厚生労働省科学研究の成果報告, 口腔衛生学会地方部会, 新潟, 2004年7月24日, 2004年.
- 2) 澤田宏二: 理解しているようで分かりにくい義歯設計を再考する, 平成16年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2004年6月30日, 2004年.
- 3) 本間 濟: 咀嚼回数から補綴治療を評価する, 技工士学科プレゼンテーション, 明倫短期大学, 2004

番号 15791119, 2004 年 .

- 9) 大山喬史, 森本俊文, 河野正司, 片山芳文, 野首孝祠, 古谷野潔, 秀島雅之: 床義歯の設計様式が口腔感覚に及ぼす影響について, 14 年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究 (A)(1) (継続), 課題番号 13307056, 2004 年 .
- 10) 五十嵐順正, 野首孝祠, 河野正司, 大山喬史, 赤川安正, 石上友彦, 山下秀一郎: 欠損歯列における補綴介入および「短縮歯列」処置に関するマルチセンター・リサーチ, 平成 16 年度科学研究補助金 (基盤研究 (A)(1)), 課題番号 16209058, 2004 年 .
- 11) 佐藤直子 (五十嵐直子): 開口運動は頭頸と下顎の直合運動である, 平成 15 年度科学研究補助金 若手研究 B (継続), 課題番号 15791122, 2004 年 .

【受賞】

- 1) Rezwana B A: 第 111 回日本補綴歯科学会学術大会 デンツプライ賞, 2004 年 5 月 22 日, 2004 年 .
- 2) 本間 濟: 日本顎口腔機能学会奨励賞, 2004 年 11 月 12 日, 2004 年 .

訂正追加項目

【受賞】

平成 15 年度
受賞

- 1) 田中みか子, 大橋直子, 河野正司, 江尻貞一: 顎骨データを用いた骨粗鬆症診断の可能性に関する基礎的検討, 第 108 回日本補綴歯科学会学術大会 デンツプライ賞, 2003 年 .

加齢歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Stegaroiu Roxana, Ameen Khraisat, Nomura Shuichi, Miyakawa Osamu: Influence of superstructure materials on strain around an implant under two loading conditions: A technical investigation. *Int J Oral Maxillof Implants*, 19 (5): 735-742, 2004.
- 2) Khraisat A, Hashimoto A, Nomura S, Miyakawa O: Effect of lateral cyclic loading on abutment screw loosening of an external hexagon implant system. *J. Prosthet Dent*, 91 (4): 326-34, 2004.
- 3) Watanabe K, Hashimoto A, Endo MM: Trace elements on the surface of titanium implants extracted from rat bone. *Biomed Res Trace Elements*, 15(3): 262-264, 2004.
- 4) Eriko Kitamura, Roxana Stegaroiu, Shuichi Nomura, Osamu Miyakawa: Influence of marginal bone resorption on stress around an implant - A three-dimensional finite element analysis -. *J of Oral Rehabil*, 32(4): 279-286, 2005.
- 5) Eriko Kitamura, Roxana Stegaroiu, Shuichi Nomura, Osamu Miyakawa: Biomechanical aspects of marginal bone resorption around osseointegrated implants: Considerations based on a three-dimensional finite element analysis. *Clin Oral Impl Res*, 15: 401-412, 2004.
- 6) Masumi Asatsuma, Satoshi Ito, Mamoru Watanabe, Hideyuki Takeishi, Shuichi Nomura, Yoko Wada, Masaaki Nakano, Fumitake Gejyo, Atsuko Igarashi: Increase in the ratio of matrix metalloproteinase-9 to tissue inhibitor of metalloproteinase-1 in saliva from patients with primary Sjogren syndrome. *Clinica Chimica Acta*, 345: 99-104, 2004.
- 7) Takeshi Suzuki, Shuichi Nomura, Takeyasu Maeda, Hayato Ohshima: An immunocytochemical study of pulpal responses to cavity preparation by laser ablation in rat molars by using antibodies to heat shock protein (Hsp) 25 and class II MHC antigen. *Cell Tissue Res*, 315: 311-319, 2004.
- 8) Fabricio I. Tapety, Norio Amizuka, Katsumi Uoshima, Shuichi Nomura, Takeyasu Maeda: A histological evaluation of the involvement of Bio-Oss in osteoblastic differentiation and matrix synthesis. *Clin Oral Impl Res*, 15: 315-324, 2004.
- 9) Hirotsugu Hao, Norio Amizuka, Kimimitsu Oda, Noritaka Fujii, Hideo Ohnishi, Atsushi Okada, Shuichi Nomura, Takeyasu Maeda: A histological evaluation on self-setting β -tricalcium phosphate applied in the rat bone cavity. *Biomaterials*, 25: 431-442, 2004.
- 10) Mamoru Watanabe, Masumi Asatsuma, Akihiro Ikui, Minoru Ikeda, Yoshiaki Yamada, Shuichi Nomura, Atsuko Igarashi: Measurements of Several Metallic Elements and Matrix Metalloproteinases (MMPs) in Saliva from Patients with Taste Disorder. *Chemical Senses*, 30(2): 1-5, 2005.
- 11) Ueda K, Yamada Y, Toyosato A, Nomura S, Saito E: Effects of functional training of dysphagia to prevent pneumonia for patients on tube feeding. *Gerodontology*, 21: 108-111, 2004.
- 12) 清水純子, 伊藤明子, 山本洋子, 伊藤雅章, 橋本明彦, 本間 香: 新潟大学皮膚科における 10 年間の扁平苔癬症例のまとめ; 特に歯科金属との関連につ